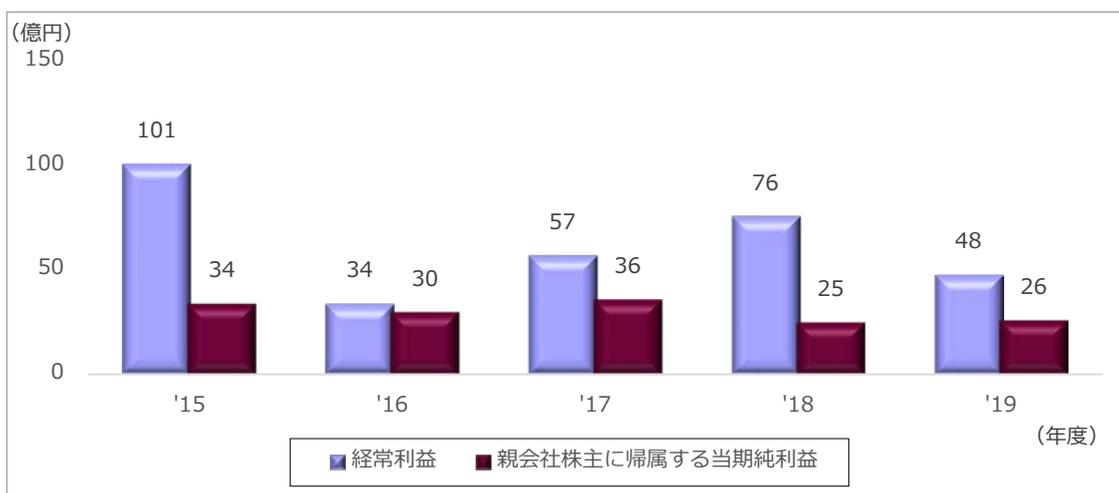


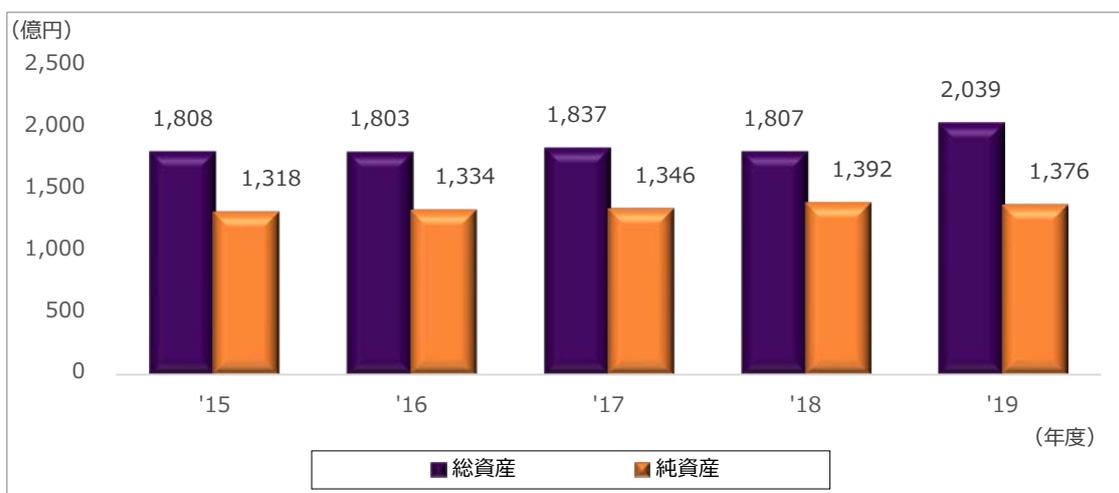
# 財務・非財務データ

## 業績・財務情報（連結）

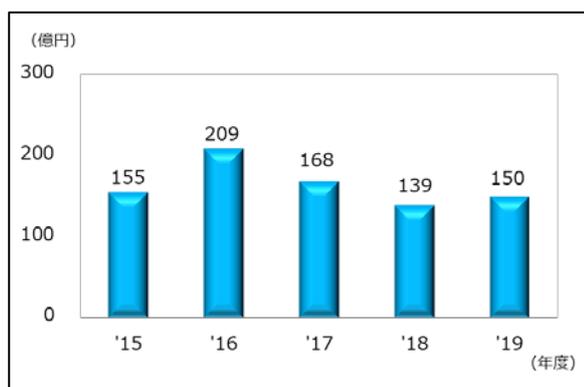
【経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益】



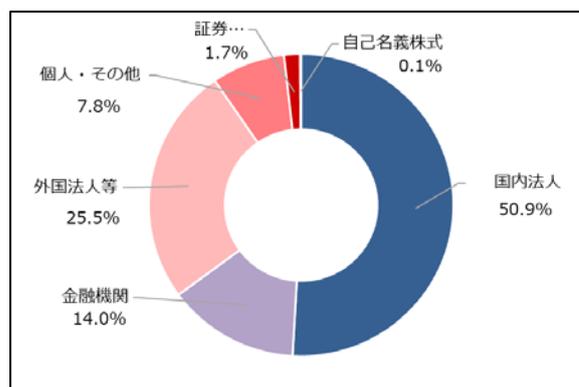
【総資産／純資産】



【設備投資】



【所有者別株式分布状況（2020年3月末現在）】



## 社員関連データ

### 【社員構成】（新光電気グループ）

		2017年度 (2018年3月期)	2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)
地域別社員数（人）	合計	4,785	4,850	4,936
	日本（比率）	84.9%	84.8%	85.3%
	アジア（〃）	14.2%	14.4%	14.0%
	米州（〃）	0.9%	0.8%	0.7%
雇用形態別社員数（人）	正規	4,785	4,850	4,936
	非正規 ※1	295	339	413

※1 嘱託社員、契約社員、パートタイマー等を含み、派遣社員は含まない

### 【多様性】（新光電気）

		2017年度 (2018年3月期)	2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)
社員数（人）	合計	3,987	4,035	4,132
平均年齢（歳）		45.2	44.9	44.5
平均勤続年数（年）	全平均	23.3	23.0	22.3
	男性	22.8	22.3	21.6
	女性	25.3	25.2	25.0
男女別社員数（人）	男性	3,121	3,160	3,253
	女性	866	875	879
女性社員比率（%）		21.7%	21.7%	21.3%
女性管理職比率（%） ※2		2.4%	2.6%	2.9%
外国人社員数（人） ※3		8	20	42
障がい者雇用率（%） ※4		2.25%	2.37%	2.37%

※2 グループ会社への出向者および非正規含む

※3 グループ会社からの出向者および非正規含む

※4 国内グループ会社および非正規含む（毎月6月集計）

### 【雇用状況】（新光電気）

		2017年度 (2018年3月期)	2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)
新卒採用（人）	合計	49	105	125
キャリア採用（人）	合計	18	83	127
正規社員の離職率（%） ※5		1.4%	1.4%	1.7%

※5 定年退職者を含む

### 【雇用状況】（新光電気）

		2017年度 (2018年3月期)	2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)
育児休職 利用者数（人）	合計	19	29	24
	男性	0	2	1
	女性	19	27	23
育児休職後の復職率（%）		100%	100%	100%
育児休職後の定着率（%） ※6		94%	100%	100%
介護休職 利用者数（人）	合計	2	1	2
	男性	1	0	1
	女性	1	1	1
介護休職後の復職率（%）		100%	-	0%
介護休職後の定着率（%） ※6		100%	50%	-
出産育児サポート休暇 取得者数（人）		44	39	38

※6 復職後12か月の時点で在籍している社員の比率

## 環境データ

### 環境測定データ

#### 更北工場

□大気 対象：小型貫流ボイラー

項目	単位	国の基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
ばいじん <sup>※1</sup>	g/m <sup>3</sup> N	(0.1)	0.02	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>
硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	4.41	-	- <sup>※3</sup>	- <sup>※3</sup>
窒素酸化物 <sup>※1</sup>	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	(150)	130	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>

□水質 単位：水素イオン指数以外 (mg/L)

項目	下水排除基準	自主基準	実績値	
			最大	平均
水素イオン指数	5.0~9.0	5.2~8.8	7.9	7.3
BOD	600	540	520	196
浮遊物質量	600	300	210	56
n-ヘキサン	5	4.5	<1	<1
銅	3	1	0.42	0.17
亜鉛	2	1	0.38	0.14
溶解性鉄	10	5	0.45	0.14

#### 高丘工場

□大気 対象：C棟小型貫流ボイラー

項目	単位	国の基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
ばいじん <sup>※1</sup>	g/m <sup>3</sup> N	(0.1)	0.03	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>
硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	3.68	-	- <sup>※3</sup>	- <sup>※3</sup>
窒素酸化物 <sup>※1</sup>	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	(150)	130	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>

対象：K棟小型貫流ボイラー

項目	単位	国の基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
ばいじん <sup>※1</sup>	g/m <sup>3</sup> N	(0.1)	0.03	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>
硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	7.40	-	- <sup>※3</sup>	- <sup>※3</sup>
窒素酸化物 <sup>※1</sup>	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	(150)	130	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>

□水質 単位：水素イオン指数以外 (mg/L)

項目	国の基準	長野県基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
水素イオン指数	5.8~8.6	5.8~8.6	6.0~8.4	7.5	7.0
BOD	160	30	27	24	10
浮遊物質量	200	50	25	22	7
n-ヘキサン	5	5	2	<1	<1
銅	3	2	1	0.83	0.20
亜鉛 <sup>※4</sup>	5	3	1.5	0.04	<0.02
溶解性鉄	10	10	3	0.21	0.09
溶解性マンガン	10	10	3	0.33	0.09
クロム	2	1	0.5	<0.02	<0.02

※1 大気汚染防止法施行規則附則（S60.6.6 総令 31）により、当面は適用無し

※2 1回/3年の測定管理（2019年度は測定無し）

※3 燃料は硫黄成分の含有無しのため測定不要

※4 国・県の基準値は、2021年12月10日までの暫定基準

#### 若穂工場

□大気 対象：小型貫流ボイラー

項目	単位	国の基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
ばいじん <sup>※1</sup>	g/m <sup>3</sup> N	(0.1)	0.02	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>
硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	5.5	-	- <sup>※3</sup>	- <sup>※3</sup>
窒素酸化物 <sup>※1</sup>	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	(150)	135	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>

□水質 単位：水素イオン指数以外 (mg/L)

項目	下水排除基準	自主基準	実績値	
			最大	平均
水素イオン指数	5.0~9.0	5.2~8.8	8.0	7.7
BOD	600	540	430	309
浮遊物質量	600	200	72	57
n-ヘキサン	5	4.5	4.0	1.2
銅	2	1.8	0.67	0.31
亜鉛	3	1	<0.02	<0.02
溶解性鉄	10	3	<0.02	<0.02
溶解性マンガン	10	4	0.26	0.10
クロム	2	0.4	<0.02	<0.02

#### 新井工場

□大気 対象：小型貫流ボイラー

項目	単位	国の基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
ばいじん <sup>※1</sup>	g/m <sup>3</sup> N	(0.1)	0.015	<0.004	<0.004
硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	7.1	-	- <sup>※3</sup>	- <sup>※3</sup>
窒素酸化物 <sup>※1</sup>	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	(150)	100	31	23

□水質 単位：水素イオン指数以外 (mg/L)

項目	国の基準	新潟県基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
水素イオン指数	5.8~8.6	5.8~8.6	6.0~8.4	7.5	7.2
BOD	160	25	23	6.0	2.9
浮遊物質量	200	50	32	8	4
n-ヘキサン	5	5	4	<1	<1
銅	3	2	1	0.14	0.11
亜鉛 <sup>※4</sup>	5	5	1	<0.02	<0.02
溶解性鉄	10	10	5	0.39	0.12
溶解性マンガン	10	10	3	0.38	0.11
クロム	2	2	0.5	<0.02	<0.02

#### 京ヶ瀬工場

□大気 対象：小型貫流ボイラー

項目	単位	国の基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
ばいじん <sup>※1</sup>	g/m <sup>3</sup> N	(0.1)	0.03	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>
硫黄酸化物	m <sup>3</sup> N/h	4.65	-	- <sup>※3</sup>	- <sup>※3</sup>
窒素酸化物 <sup>※1</sup>	cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N	(150)	130	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>

□水質 単位：水素イオン指数以外 (mg/L)

項目	国の基準	新潟県基準	自主基準	実績値	
				最大	平均
水素イオン指数	5.8~8.6	5.8~8.6	6.2~8.2	7.5	7.0
BOD	160	160	80	5.8	4.5
浮遊物質量	200	200	65	3	3
n-ヘキサン	5	5	2	<1	<1
銅	3	3	1	0.02	<0.02
亜鉛 <sup>※4</sup>	5	5	1	0.09	0.02
溶解性鉄	10	10	3	0.17	0.13
溶解性マンガン	10	10	3	0.02	<0.02
クロム	2	2	0.5	<0.02	<0.02

※集計対象：新光電気グループ（国内）

INPUT	2017年度	2018年度	2019年度
<b>エネルギー(GJ)</b>	<b>3,203,717</b>	<b>3,174,950</b>	<b>3,267,857</b>
電力 (MWh)	280,757	279,916	286,038
軽油 (千L)	4	4	4
ガス (千m <sup>3</sup> )	16,366	15,791	16,724
再生可能エネルギー (MWh)	46	33	47
<b>物質 (t)</b>	<b>18,200</b>	<b>16,548</b>	<b>39,071</b>
原材料 (t)	15,251	13,589	36,451
化学物質 (t)	2,949	2,959	2,620
<b>水資源 (千m<sup>3</sup>)</b>	<b>3,315</b>	<b>3,488</b>	<b>3,464</b>
上水道 (千m <sup>3</sup> )	770	830	694
地下水 (千m <sup>3</sup> )	2,545	2,658	2,770
リサイクル率 (%)	50	50	48

(用語解説)

再生可能エネルギー	太陽光による発電量
化学物質	PRTR 対象物質の取扱量
水資源リサイクル率	(総使用量 - 水資源投入量) / 総使用量

物流	2017年度	2018年度	2019年度
<b>INPUT エネルギー</b>			
軽油 (千L)	894	852	809
<b>OUTPUT 大気</b>			
CO <sub>2</sub> (t-CO <sub>2</sub> )	2,363	2,251	2,139

(用語解説)

INPUT	エネルギー	お客様への製品納入（国内流通分）にかかった運送エネルギー量
OUTPUT	CO <sub>2</sub>	お客様への製品納入（国内流通分）にかかった運送エネルギーの消費に伴う二酸化炭素排出量

OUTPUT	2017年度	2018年度	2019年度
<b>大気</b>			
CO <sub>2</sub> (Scope1) (t-CO <sub>2</sub> )	34,275	36,146	38,339
更北工場	3,401	3,678	3,945
若穂工場	10,259	9,958	10,057
高丘工場	12,182	13,262	15,041
新井工場	7,206	8,056	8,015
京ヶ瀬工場	1,204	1,168	1,254
その他	23	24	26
CO <sub>2</sub> (Scope2) (t-CO <sub>2</sub> )	114,268	113,926	116,417
更北工場	18,868	18,984	19,281
若穂工場	26,810	27,956	27,625
高丘工場	36,530	35,064	38,057
新井工場	26,375	26,515	26,135
京ヶ瀬工場	2,282	2,173	2,168
その他	3,403	3,234	3,152
I <sub>3</sub> P <sub>3</sub> の消費に起因しない温室効果ガス(Scope1) (t-CO <sub>2</sub> )	913	889	852
NOx (t)	17	15	18
SOx (t)	0	0	0
<b>化学物質 (t)</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>5</b>
<b>水域</b>			
排水 (千m <sup>3</sup> )	2,820	2,777	2,852
河川放流	1,915	1,851	1,940
下水道放流	905	926	912
<b>廃棄物 (t)</b>	<b>21,265</b>	<b>21,305</b>	<b>22,448</b>
有効利用物 (t)	21,249	21,280	22,409
その他廃棄物 (t)	16	25	39
特定有害産業廃棄物	0	0	0
有効利用率 (%)	99.9	99.9	99.8
(最終処分量 (t))	2	2	3

(用語解説)

CO <sub>2</sub>	工場等で使用したエネルギーの消費に伴う二酸化炭素排出量（富士通グループ GHG プロトコルで換算）（Scope1：重油・ガス・軽油、Scope2（ロケーション基準）：電気）
エネルギーの消費に起因しない温室効果ガス	工場等で使用したエネルギーの消費に起因しない温室効果ガスの排出量（GWP換算）（Scope1）
NOx	工場等のボイラーなどから排出された窒素酸化物量
SOx	工場等のボイラーなどから排出された硫黄酸化物量
化学物質	PRTR 対象物質の排出量
有効利用物	廃棄物のうち、有効利用したもの
その他廃棄物	廃棄物のうち、単純焼却および埋立てた量（廃棄物 - 有効利用物）
特定有害産業廃棄物	その他廃棄物のうち、特性に合わせた管理が必要なもの
有効利用率	有効利用物 / 廃棄物量
最終処分量	直接埋立ておよび中間処理後に埋立てされる残渣物量（廃棄物量には含まない）